

## 高校教諭対象

# 「入試説明会「ワークショップ」大盛況

## 短期大学

体験したインターシッ  
プについて報告しまし  
た。

その後はB'sダイニング

文京学院大学・短期大学の教育について公開する高校教諭対象「入試説明会」「ワークショップ（文京学院の特色ある教育）」「個別相談」などが、6月24日に本郷キャンパスで開かれました。

会場では、川邊信雄学長が100人を超える来場者を前に挨拶。入試説明会では、全学統一スカラシップや、各学部の入試システムなどが担当者により具体的に示され、来場者は熱心に耳を傾けました。

その後は各ワークショップに分散し、以下が披露されました（3面に写真掲載）。

## 外国語学部

西村信勝教授（英語コ



「入試説明会」会場は100人

を超える来場者の熱気

喜多見康教授（経営学科/コンテンツ多言語知財化センター長）が、視覚伝達メディアの環境の激変により、既存の広告媒体による価値が失われた現状で、新しい映像端末やWebを駆使し、効果的にアピールする方法などを学ぶ本学

の教育を解説。その具体例として、「東京国際アニメフェア」出展ワールドワークの学生によるプレゼンを行いました。

## 経営学部

まず絹祐二教授（福祉学科/地域連携センター長）が、地域の関係諸機関や地域住民と密接な連携体制を組む、実践的課題追求型教育や地域住民の子育て、高齢者・障害者のニーズへの支援を行う「地域連携センター」について解説しました。さらに、学生による実際の活動についてのプレゼンがありました。

## 人間学部

齋藤慶一郎准教授（作業療法学科）が作業療法の4領域「身体障害・精神障害・発達障害・老年期障害」を紹介しました。その中の身体障害領域で、齋藤慶一郎准教授の研究分野である「ハンド・リハビリテーション」について詳細を説明。

## 保健医療技術学部

千葉隆一教授（外国語学部・短期大学英语キャリア科）が、日本の大学のトップクラスをいく本学の海外インターシップの実績について解説しました。国際社会で通用するコミュニケーション能力が身につく本学の優れた教育プログラムを学んだ学生が、実際に

その後はB'sダイニングで、名刺交換や各学科長と教授による個別相談、入試相談などが行われました。会場では、沖繩サミットで名声を高めた「バッハ」のコーヒート「ブルガリア・ローズ」のジュース、ブルガリア・スイーツ等が提供され、来場者に喜ばれました。

手は怪我を負った後に必要なハンド・リハビリテーションの具体例として、専門的な知識と技術に基づいた治療器具作成技術を実演しました。

終了時には、高校教諭より作業療法士の適性や活躍の場についての質問があり、齋藤准教授が「本学の作業療法学科で学ぶことの魅力」も加えて回答しました。